

令和5年度 都立野津田高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
地歴	諸事象について、世界とそこの中の日本を広く相互的な視野から捉え、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについて歴史的事象を通して深める。
公民	基本的な知識の習得のほか、現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解する。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
数学	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
理科	観察、実験などを行い、探究する力を養う。	観察、実験などを行い、探究する力を養う。自然の事物・現象に関わり、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
英語	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、聞くこと、読むこと、話すことを適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。
保健体育	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
情報	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けさせる。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けさせる。	情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けさせる。
家庭	生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解させる。	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする態度を育成する。
福祉	福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す	社会福祉について体系的に・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。